

出会いに感謝

レポート：太田明日香

★はじめに

このようなプログラムにエントリーした動機は、私自身が現在大学で幼児教育を勉強していて、今回のツアーでは森の幼稚園やモンテッソーリ教育を取り入れた内容の研修があることを耳にしたり、今自分が勉強したりしていく中で興味のあるプログラムの内容だったからです。

また、全く英語ができないという課題はありましたが、それも勉強の1つだと思い、参加することにしました。

★いざ Canada に向けて

成田空港到着し、電話越しにしか話をしたことのない企画者の中能さんと参加者の皆さんと出会うことができました。

幼稚園の副園長をされている方と保育士をされている2人の先生と一緒にケロウナの空港まで18時間ほどかけて無事到着しました。

★千尋ちゃんと意気投合

到着するとカナダに留学されていた1つ先輩の千尋ちゃんに出会いました。同じホームステイ先ということですごくお世話になりました。

千尋ちゃんとはすぐに意気投合し、ホームステイ先でもホストの方の通訳もそうですが、それだけではなく、カナダの文化や、日本とカナダの違いも沢山学ばせてもらいました。

ホームステイ先に帰ってから寝るまでの時間も沢山のことをお話ししました。お互いの家族の話や大学生活について、この先の夢の話など語り尽くせないほどの内容で刺激的な毎日でした。

★自然の素晴らしさ

今回の視察の中で改めて人間の手で作られた玩具などとは違った、自然の素晴らしさを感じました。カナダも日本と同様で、経済的な発展の急速化で、食べ物がどこから来ているのか知らない子ども達が多いようです。



そこで、森の幼稚園を自然教室の場とし、子どもたちは五感をフルに使って学んでいます。食べ物や生き物と自分とのつながりを感じられる素晴らしい環境でした。自然や生物は年齢や性別を超えて遊べて、自分の感覚で自然のなかで遊びを展開していくという、とても自然体で理想的な保育をされていました。

★デジタルもアナログの使い方

この活動に参加して、賢い子を育てることが目指すべきところだと感じました。また、めまぐるしく変化する経済の発展に伴って、室内で遊ぶことが増え、インターネットが急速に普及され、遊び方がわからず遊ばせてもらっているばかりの子が増えている。無意識に何かをしてもらわなければストレスを感じ、自然の中でもそう感じってしまう人間本来の姿から離れていって手に負えない状況にいる。デジタルもアナログも良い悪いの前にその使い方を知っているか知らないかで

大きな違いがあるのではないか。

★大人の監視で子どもは育たない

大人はつつい子どもの遊びや言動に目的を求めてしまい、「なんでそうしたの？」はお節介なのである。子どもは理由や見返りなど求めず、「ただやってみただけ」の時間がとても貴重な時間で貴重な経験なのです。

子どもにとってとは、やりすぎると大人のためになり、子どもの想像力や学びを削ってしまう事になり兼ねる。自分で考えて何かを学ぶこともあるでしょう。

例え失敗したとしても同じです。学びにつながります。成功に近づくでしょう。もしも失敗してもアドバイス、引出すことができる先生になれば良いのではないだろうか。どうしたら怪我がないように遊べたか一緒に考えて、訪ねてみたら変わってくるのではないだろうか。

★安全が万全の策だとは限らない

子どもを観察するとき、危険が目につく。しかし、カナダではどこか先生たちにおおらかさが見られる。死角が子どもたちにとってとても大切になる。常に最悪状況のときに、対応できるようにしておくことが必要になる。常に先生に見える、見えすぎるようでは子どものワクワクは育たない。大人も同様だろう。安全が万全の策だとは限らないのだ。

★保育の質と子どもとの関わり

今回の視察を通してたくさんの方々のプロフェッショナルの方々に会い、指導力の高さを感じました。先生の感性と知識の差で、子どもの反応は全く違ってきます。日本では子どもを見守るとき、つつい危険が目についてしまいがちです。しかし、カナダではどこか先生たちにおおらかさが見られました。子どもたちにとって死角の大切に気づきました。

常に先生に見えるところに子どもがいることは安全面から言って大切ですが、見えすぎるとは子どものワクワクは育たない部分もあると思います。大人も同様だと思います。

安全が万全の策だとは限らないのです。

また今回の森の幼稚園の視察で、「先生間の連携を円滑にするには、先生が事前学習を行うことや、わからない部分も1つ1つ丁寧に教えること、その先生同士のミーティングが重要である。」とおっしゃっていました。

他の施設でも似たようなお話をさせていただきました。そのようなことから、プロとして働いておられる先生方の意識や姿勢、スキルが高く、人間力のある素晴らしい方々だと思いました。

★様々な価値観や気づき

私の1番の学びは、視察中はもちろんですが、移動中のタクシーの中や活動後の視察メンバー間でのミーティングです。みんなで同じ場所に行って同じ話を聞くのですが、解釈の仕方や感じ方が全員違い、学びに繋がりました。

価値観や育ってき環境などによって違うということを実感しました。普段、保育の現場で活躍されている保育者の方の目線で視察先の子どもの先生方の言動、保育環境を見て気づかれることは私の何倍も深いポイントで、そのような感想や考えを共有して頂けたことが1番の学びになりました。ありがとうございました。

